

作品に古典の影響

文人の
武蔵野



大津市の幻住庵。八月の庵には小
学生の頃の村上春樹が父親と再建前
の幻住庵を訪れたとみられる記載が
ある(写真・びわ湖大津観光協会)

村上春樹 ①⑦

村上春樹が日本古典文学
に深い影響を受けているこ
とは、そのエッセー「八月の
庵 僕の『方丈記』体験」(「太
陽」1981年10月号)以来、
村上自身がしばしば言及して
いることです。

「八月の庵」では、「中学
校に上がった頃から父親は僕
に古典を教え始め、それは高

校を出るまでの六年間ずっと
続いた。万葉集から西鶴に至
るまでの主な作品は全部であ
る」と記し、「その反動とし

て異常なほどの極端さで外国
の小説へと傾斜していった。
何カ月も何カ月も英語の小説
しか読まなかった時期があ

る。新聞さえ——それが日本
語で書いてあるというだけの
理由で——読まなかった」と

ふりかえっています。
無理やり読まされた読書
体験は何をもたらすのでし

ようか。村上の場合には、別
の抑圧されない言語への避難
でした。そして、教師であり

僧侶であった父からの抑圧
により、意図せず古典の教

養を身につけることとなりま
した。

武蔵野とかかわる万葉集の

「紫草は根をかも終る人の
児のうらがなしけを寝を終へ
なくに」や「紫のほへる妹

を憎くあらば人妻ゆゑに我恋
ひめやも」を読むことを通じ
て、叶えられない想い、成就
しない恋愛を無意識にうけと
っているはず。

古今集の「紫のひととゆ
ゑに武蔵野の草はみながらあ
はれとぞ見る」や「紫の色こ

き時はめもはるに野なる草木
ぞわかれざりける」(古今集)
を引用した伊勢物語の「武蔵

野の心なるべし」に基づく紫
のゆかり(縁)とその系譜も、

その身体の血となり肉となっ
ていたことでしょう。

「スプラトニクの恋人」に

おける武蔵野のすみれは、紫
のゆかりです。武蔵野におけ
る成就しない恋愛というテー

マも、古典文学由来だと言え
ます。その意味で、「スプラ
トニクの恋人」は古典的な武
蔵野文学なのです。

(敬称略)

(武蔵野大教授、むさし野
文学館館長・土屋忍)

過去の連載は、読売新聞オ
ンラインでお読みい
ただけます。スマー

トフォンはQRコー
ドから。